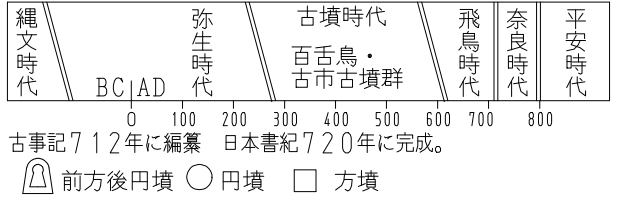


世界化遺産 古市古墳群 ショートハイキング 日帰り
土師ノ里駅から允恭天皇陵古墳・応神天皇陵古墳・
白鳥陵古墳など17古墳を歩く

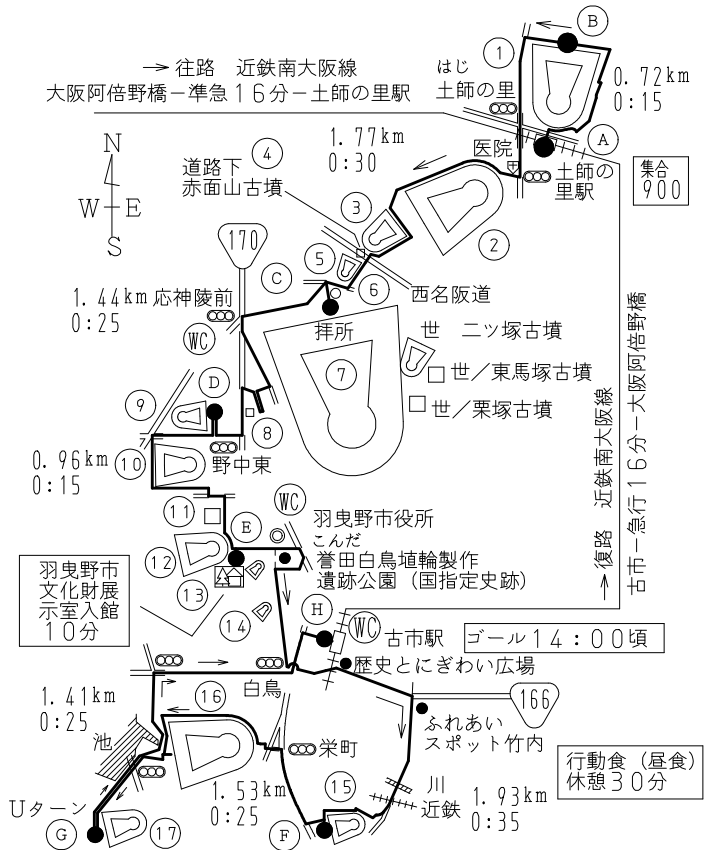
歩行距離 9.76 km 歩行時間 2時間50分 休憩・昼食・観光 100分
予備時間 20分 全行程 4時間50分 最大標高差 26m



古墳時代誕生 と 古市古墳群

弥生時代の農耕生活に鋤、鎌などの鉄器普及で経済力が上昇してヤマト王権が拡大し、国家としての統治機構の出現を導いた。西暦266年から413年にかけて、中国の歴史文献に倭国の記述がなく、古墳時代は日本独自の文化を育み、国内最初の巨大前方後円墳は奈良県桜井市の「箸墓古墳」で墳丘長278m。3世紀後半に築造された。古市古墳群は4世紀後半から6世紀にかけて、藤井寺市と羽曳野市に東西南北ともに4kmの範囲に広がり、120基を超える古墳が築造された。現存する45基には墳丘長200mを超える巨大な前方後円墳が7基含まれる。百舌鳥古墳群とともに、巨大前方後円墳を頂点に、衛星状に築造した陪塚や、独立して築造された古墳群です。倭(やまと)王権の拡大により、王、親族、属臣たちの墓の集合体で、100年以上にわたり形成され続けた。

番号	古墳名	墳丘長m	世界遺産	特徴	建造年代
1	允恭天皇陵古墳	230	○	空濠で住宅が攻めている。	5世紀中ごろ
2	仲姫命陵古墳	290	○	応神天皇の皇后で藤井寺市で最大の古墳	
3	古室山古墳	150	○	公園で市民の憩いの場。墳丘から景色がよい	
4	赤面山古墳	25		1辺25mの方墳。古墳を守る高速道の設計	
5	大鳥塚古墳	110	○	銅鏡や鉄製武器を出土。人が入れる	
6	誉田丸山古墳	50	○	応神天皇の陪塚で立入禁止。内部は不明	
7	応神天皇陵古墳	425	○	推定2万本の円筒埴輪が並んでいた	
8	東山古墳	57	○	以前は濠あり。埴輪・円筒埴輪発見	
9	はざみ山古墳	103	○	周濠があり	5世紀中葉
10	野中宮山古墳	154		濠は学校幼稚園に埋立。	5世紀前葉
11	野中古墳	37	○	周濠があり須恵器、土師器を出土	
12	墓山古墳	225	○	周濠は狭い。	5世紀前半
13	向墓山古墳	68	○	調査で円筒埴輪など出土。	5世紀前半
14	西馬塚古墳	45	○	発掘で須恵器埴輪を出土。	5世紀後半築造
15	安閑天皇陵古墳	122		6世紀前半築造。ペルシャ製ガラス椀発掘	
16	白鳥陵古墳	200	○	日本武尊陵。伝説と美しさで人気。中期	
17	清寧天皇陵古墳	115		6世紀前半築造の前方後円墳。二重濠。	



允恭天皇陵古墳

5世紀後半の築造でくびれ部に造出があり、二重の濠と堤があり器財型、馬、犬、人物埴輪が出土し。陪塚長持山古墳から家形石棺2基発見され道明寺小学校に展示中で見学可能。

応神天皇陵古墳

全長425mは仁徳天皇陵486mに続く国内第2位の規模。盛り土の体積では全国一の巨大古墳。墳丘は3段でくびれ部両側に造出しを持つ。濠と堤を二重造成。5世紀前半の築造。円筒埴輪や水鳥などの形象埴輪クジラ、タコなどの土製品を発掘。陪塚の誉田丸山古墳から出土した馬具は大陸伝来で国宝に指定。誉田八幡宮に所蔵されている。

安閑天皇陵古墳

古市古墳群最南端のむ古墳。墳丘は中世に高屋城の築造され大きく変形している。出土した埴輪や須恵器の特徴から6世紀前半の築造。東京の国立博物館に所蔵されているペルシャ製ガラス御碗はこの古墳から出土した。

清寧天皇陵古墳

周囲には二重の濠と堤があり、出土した埴輪や古墳の形態から6世紀前半ごろに築造と考えられる。

白鳥陵古墳

『古事記』と『日本書紀』には日本武尊が伊勢の能褒野で亡くなり、白鳥となって大和の琴弾原を経由して古市に飛来し、その後、羽生野を天に向かって羽を曳くように飛び去った」という白鳥伝説があり、羽曳野市の名前の由来となった。

現：伊勢の「能褒野王塚古墳」 全長90mの前方後円墳(三重県亀山市田村町 陵墓治定：宮内庁)。

羽曳野市文化財展示室

古市古墳群などから出土した家形、人物、水鳥、犬の埴輪等、すべて本物を展示。平日10:00~16:00

